



No. 17 2003. 3.

山間の標高差を利用した トルコギキョウの10～11月どり栽培



10～11月に市場で販売されるトルコギキョウは比較的高価であるが、高温による生育障害を受けやすく栽培は難しい。そこで、山間地域の冷涼な気候を活用した育苗・栽培技術を開発・実証した。

現地実証の方法

育苗場所は三好郡東祖谷山村久保蔭（標高 700 m）と三加茂町水の丸（標高 950 m）。約 50%遮光率のパイプハウス内で、6月 17,18 日に早生系品種‘ネイルピーチネオ’‘ネイルマリンネオ’を 288 穴セル成型トレイに播種した。

栽培場所は三加茂町西庄（標高 300 m）と三好郡池田町シンヤマ（標高 200 m）。

結果

10～11月に採花株率は 70%以上、平均切り花長は 50cm 程度の販売可能な収穫が得られた。

なお、標高 950 m の育苗地でも育苗期間が長引くとロゼット化を誘導するとされる最低気温 20℃以上の日に遭遇する危険性が増すため、換気等の温度管理をこまめに行い、育苗は 8 月上旬までに終わる必要が確認された。

要約

標高 700 m～1000 m 程度で、6 月中旬に遮光ハウスに播種、育苗し、8 月上旬に標高 200,300 m 程度の遮光ハウスに定植すれば 10～11 月に採花できる。

切り花長がやや不足するので、日照時間のよいほ場の選定、灌水精度の高度化などの対策が必要である。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業研究所 花き園芸担当

TEL (088) 674-1660

FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>